

作成日：2022年12月6日

研究協力のお願い

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

内視鏡的胆管ステント留置術後のステント痛の検討

1. 研究の対象および研究対象期間

2018年1月から2023年12月まで昭和大学病院で内視鏡的胆管ステント留置術を行った患者さん

2. 研究目的・方法

胆道狭窄に対する、内視鏡的胆管ステント留置術は有用な治療です。黄疸の改善のために胆管ステント留置が必要ですが、留置後にステント痛を認める症例が散見します。今回、内視鏡的胆管ステント留置後のステント痛の臨床成績を患者さんの診療録から検討することを目的にしました。

研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究機関の長の研究実施許可を得てから2025年3月31日までです。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、身長、体重、診断病名、既往歴、家族歴、現病歴、腫瘍径、入院日数、入院費、ステント留置日、胆管径、ステント種類、ステント痛率、ステント留置法、乳頭切開率、偶発症、血液検査所見（T-Bil値）、画像検査所見（超音波、CT、MRI、内視鏡、X線透視、血管造影）

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属： 昭和大学病院（医学部内科学講座消化器内科学部門） 氏名： 石井 優

住所： 電話番号：

研究責任者：石井 優（昭和大学病院（医学部内科学講座消化器内科学部門））